

岩田山 いわたさん  
せいけん  
誓願寺



平成二十四年 報恩講法要



平成二十三年 報恩講法要

誓願寺は、開基岩田光哲が昭和六十一年四月一日付で東京地区都市開教対策本部より開教要員に、同日宗派より「浄土真宗本願寺派大宮布教所専従員」に命ぜられたことにより活動が始まりました。

開所地からほど近くの現在地には平成元年に移転し、平成三年十月十一日付で埼玉県庁より宗教法人の認証をいただきました。同年十一月一日付で宗派より東京教区埼玉組に編入され現在にいたっています。

平成四年五月十七日には、大谷光照前門様ご親修によります「新寺設立・本堂落成・住職就任記念法要」をお勤めいたしました。

敬って

大慈大悲の阿弥陀如来の御前に

白して言さく

本日ここに本願寺の前門弟子光照

当誓願寺の本堂に於て恭しく尊前を荘厳し

参仕の衆僧並びに有縁の門信徒と共に

懇ろに聖教を拝読して

新寺設立 本堂落成記念法要を厳修し奉る

それ惟るに

如来の大悲は苦悩のわれらを憐みたまひ

その本願力は

あまねくの一切衆生を救いたもう

しかるに 当方面は法縁薄く

今に至るまで浄土真宗の寺院少なき地なり

ここに於て 岩田光哲初代住職は

まず都市開教専従員として



本堂正面

昭和六十年にこの地に移り住み

念仏弘通に力をそそぎ

幾多の困難を乗り越えつつ

ついに 本堂及び庫裡の完成をみ

昨平成三年十月には

誓願寺の寺号公称をうけ

東京教区埼玉組に編入せらる

これまことに仏祖の広恩によるはもとより

任職ならびに寺族の熱意と

多大の協力を惜しまざりし門信徒各位の

懇念のたまものにして

衷心より感謝の意を表しその功労を賞讃す

しかれば この法縁を機として有縁の人々

朝に集いてはみ法を聞き

夕に集っては仏恩を謝し

この地に念仏の声をいやましに盛ならしめ

もって岩田住職の初志貫徹に協力せんことを願う

庶幾くは いよいよ深く仏祖の加護を蒙り

遺弟の道念ますます堅く

寺運大いに興りて

法縁あまねく一切を潤さんことを

伏して乞う

三宝哀愍納受したまえ

誓願寺は、この表白のお言葉を胆に銘じ、

都市開教を推進してまいります。